

稻村隆一 いぬむらたかひ 評論家、農民運動家。明治二十一年二月七日新潟縣
生れ、平成二年十一月二十日歿（二八九―一九〇）。大正十一年早稻田大學
經濟學部卒業。在學中建設者同盟に参加。十四年日本農民組合新潟聯合會
會主宰、日本生産黨に入り、翌年労働農民黨入黨。その後社會大衆黨
を経て戰時中東方會員加盟。昭和二十年日本社會黨から衆議院議員。稻
村順二の兄。

著書 『農民の歴史』（大正十五年四月十七日農村問題叢書刊行會「農
村問題叢書」）、『宗教改革と日本農民戦争』（昭和十二年一月二十
日改造社）、『全體主義政策・綱領』（合著・中野正剛編、昭和十
四年一月二十日育生社）、『中野正剛は生きてゐる』（合著・正剛會
編、昭和二十九年八月一日あけびの社）等。

